

災害時に活躍!? スーパーマーケット

兵庫県立加古川東高等学校 課題研究 5S1班

動機・目的

報道などを見て、災害時の避難所における物資や設備などの支援が、被災者のニーズと噛み合わないケースがあることを知った。そこで、支援を主体的に行っている公共団体と、私たちに身近で私的な団体であるスーパーマーケットについて、それぞれがどのような支援策を用意しているか、どのような共通点や相違点があるのかを調べてみようと思った。

仮説

公共団体の役割とは違った、スーパーならではの役割がある。また、公共団体の支援策の足りない部分は、スーパーの支援策によって補える。

調査1

先行研究より、時間経過による被災者のニーズの変化について調べ、スーパーが避難所としての役割を果たせる期間を定義した。

結果1

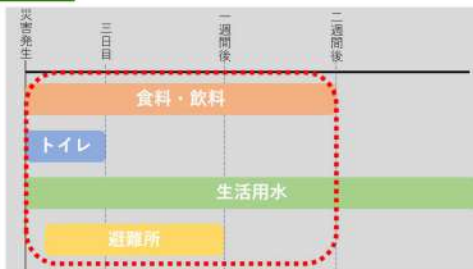


図1 時間経過による被災者のニーズの変化

時間経過により被災者のニーズが変化していることがわかった。このうちスーパーが避難所としての役割を發揮できる期間を、災害発生から二週間(図1の赤破線部分)と定義した。

調査2

加古川市のホームページから市の防災計画を、先行研究から過去に大手スーパーが行った支援の例を、スーパーのホームページからその防災マニュアルをそれぞれ参照した。加古川市とスーパーの支援策を被災者のニーズ別に比較した。

結果2

加古川市とスーパーの支援策には、対応の早さや形式などに相違点があることがわかった(表)。

表 加古川市の災害マニュアルとスーパーの災害支援例の比較

		加古川市	スーパー
食料・飲料	期間	3日後～	2日後～
	分配法	配給	販売※1
	補給法・ルート	災害対策本部へ発注	物流センターからの補充・企業から直接※2
トイレ	期間	5日後～	なし
	形式	仮設トイレ	店舗の常設トイレを貸し出し
生活用水	期間	3日後～	2日後～
	給水方法	給水車	貯水タンク
避難所	形式	体育館や公民館の開放	パルーンシェルターなど※3

※1 コープこうべは、宅配サービス利用客に物資を届けるお見舞い活動を行った。
 ※2 イトーヨーカドーは、飲料メーカーに依頼し配送センターを介さずに野菜ジュースを確保した。
 ※3 イオングループは、パルーンシェルターを駐車場に設置する計画を立てている。

まとめ・結論

公共団体とスーパーでは、その役割を發揮できる場面が異なっているため、両者の支援策が互いの不十分な点を補いつつ被災者を支援できる。またスーパーでは、本来商業用に整備したシステムを、支援に活用できるという強みをもつ。

調査3

株式会社マルアイ神野本店に伺い、インタビューを行った。

結果3

マルアイ神野本店 非常時、店舗はどのような措置をとるか？

社員が従業員として出勤し、短縮営業を行っている。お客様向けの支援策はない。また、物資は配送センターから店舗へ計画的に配送しているため、店舗単位で食品を配ることはできない。

マルアイ神野本店 非常時、公共団体や企業とどのように連携をとるか？

公共団体立の避難所や市民病院に物資を提供するための協定を、加古川市と進めているところ。

マルアイ神野本店 店舗の物資の要請から配送までの過程は、どのようにになっているか？

店舗の発注や売れ行きを「情報システム部」で全てインターネット上で管理し、リアルタイムで確認することができる。そのデータをもとに、配送センターから店舗へ物資が供給される。

マルアイ神野本店 マルアイの非常時の対応での強みは何か？

「地域重点都市型総合食品スーパー(店舗コンセプト)よりであること。加古川市近郊4店舗のみの運営なので、比較的素早く物資を届けることができる。また、従業員を守る仕組みを充実させていること。社員、パートアルバイトの出勤時間を管理して、非常時でも安全な運営に努めている。

図2 マルアイ神野店でのインタビュー内容

調査2で参照した大手スーパーのお客向けの支援とは異なり、社員を守ることで安定した供給を続ける措置があることがわかった。配送センターからの物資供給など、既存の施設やシステムを利用した支援策を講じている点では、大手スーパーとも類似していた。

考察

特に食料の供給や情報伝達において、スーパーの支援策は公共団体のそれと比べて実行が素早いことがわかった。この理由として、スーパーは常より食品を扱う他企業との連携が強く、物流システムが発達していることがあげられる。しかし、物資を販売という形で提供したり、避難所やトイレの支援が難しかったりと、分配の公平性や施設の規模といった点においては公共団体のほうが秀でているといえる。支援策をより強固で迅速に実行するために、公共団体とスーパーが災害時に円滑に連携し、互いの支援策を補強しあえるような制度を整えることが重要である。

今後の展望

活動時間が限られていて、一件しかインタビューに行けなかったのが残念だった。時間があれば、他のスーパーマーケットや加古川市にもインタビューを実施し、組織の規模、運営方針などにより支援策の内容にどのような差が生じるか確かめたい。

参考文献

- ・加古川市避難所運営マニュアル
<https://www.city.kakogawa.lg.jp/material/files/group/78/hinanjounnei.pdf>
- ・加古川市地域防災計画(風水害対策編)
<https://www.city.kakogawa.lg.jp/material/files/group/17/suigai2.pdf>
- ・内閣府避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン
http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_toilet_guideline.pdf
- ・規模災害時のスーパーマーケットの理想的対応
<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/2011takagai.pdf>
- ・イオンのみんなであつくる、あんしんみらい
<https://www.aeon.info/bousai/>